

生命研究における倫理とは

21世紀は生命科学の世紀といわれる。生命の基本を知り操作することに對し、医療など応用面での期待が大きい半面、不安も大きい。そこで日本では、政府が倫理指針を設け、先端研究を管理しようとしてきた。遺伝子治療、遺伝子解析、ヒトES(胚性幹)細胞などの指針がすでに施行されている。女性の子宮に戻せばクローン人間誕生につながる人クローン胚の研究条件を定めた倫理指針も、現在検討中である。

これら指針に基づき、研究者は研究機関に設けられた倫理委員会から事前に承認を得なければならぬ。倫理委員会には、研究者や医師以外に、法や倫理の識者と一般の立場の人を加えることになっている。こうしていわゆる生命倫理に携わる人が増えてきた。私もその一人だが、倫理は科学研究とは別物だと捉えている現状には、科学好きの文系人間として、強い違和感がある。

生命科学・医学研究が適正に行われるようにするうえで倫理委員会の役割は大きい。そこで審査すべき最も重要な点は何かだろうか。インフォームド・コ



橋島 次郎

ンセント(十分な説明に基づく同意)と個人情報保護の保証だという人が多いだろうが、私はあえて違うといいたい。倫理委員会が審査すべき最も肝心な点は、科学的な必要性和妥当性である。その研究は、人を対象とする価値と必要があるかほかの方法ではできないか。実験方法は決められた目標に達するのに適したものか、研究対象者に与える苦痛やリスクは研究から期待できる益を上回るのか。そうした点をクリアした

るかどうかが動物実験などで確かめられていない現状で、女性の心身に大きな負担をかけて採取された卵子を大量に用いるだけの必要性が、クローン胚研究にあるだろうか。個々の計画の審査では、こうした科学的必要

性かどうかが動物実験などで確かめられていない現状で、女性の心身に大きな負担をかけて採取された卵子を大量に用いるだけの必要性が、クローン胚研究にあるだろうか。個々の計画の審査では、こうした科学的必要

科学的必要性の検討を

性

科学的に必要で妥当な実験研究でなければ、人を対象に実施してはいけない。それが倫理原則の第一である。これが満たされなければ、同意手続きや情報保護体制が完備していても、倫理的に認められる研究にはならぬ。

科学的に必要で妥当な実験研究でなければ、人を対象に実施してはいけない。それが倫理原則の第一である。これが満たされなければ、同意手続きや情報保護体制が完備していても、倫理的に認められる研究にはならぬ。

性的検討に力を入れてほしい。これまで倫理委員会は科学的側面の審査に消極的だったように思える。科学面は申請者の判断に任せているという発言がある倫理委員会で聞いたことがあるが、そうした遠慮はやめるべきだ。文部科学省のES細胞研究専門委員会、科学面の審査はこの委員会の職能でないと言った委員もいる。専門的すぎて困難だと判断するが、倫理審査の対象は指針の乱発に合わせ

性かどうかが動物実験などで確かめられていない現状で、女性の心身に大きな負担をかけて採取された卵子を大量に用いるだけの必要性が、クローン胚研究にあるだろうか。個々の計画の審査では、こうした科学的必要

た倫理委員会から事前に承認を得なければならぬ。倫理委員会には、研究者や医師以外に、法や倫理の識者と一般の立場の人を加えることになっている。こうしていわゆる生命倫理に携わる人が増えてきた。私もその一人だが、倫理は科学研究とは別物だと捉えている現状には、科学好きの文系人間として、強い違和感がある。

た。たとえばクローン胚研究は、拒絶反応を起こさない患者自身のES細胞を作り、再生医療に役立てるといって有用性を根拠に解禁されようとしている。だが科学的必要性の観点からは、違

性的検討に力を入れてほしい。これまで倫理委員会は科学的側面の審査に消極的だったように思える。科学面は申請者の判断に任せているという発言がある倫理委員会で聞いたことがあるが、そうした遠慮はやめるべきだ。文部科学省のES細胞研究専門委員会、科学面の審査はこの委員会の職能でないと言った委員もいる。専門的すぎて困難だと判断するが、倫理審査の対象は指針の乱発に合わせ

性的検討に力を入れてほしい。これまで倫理委員会は科学的側面の審査に消極的だったように思える。科学面は申請者の判断に任せているという発言がある倫理委員会で聞いたことがあるが、そうした遠慮はやめるべきだ。文部科学省のES細胞研究専門委員会、科学面の審査はこの委員会の職能でないと言った委員もいる。専門的すぎて困難だと判断するが、倫理審査の対象は指針の乱発に合わせ

生命科学・医学研究が適正に行われるようにするうえで倫理委員会の役割は大きい。そこで審査すべき最も重要な点は何かだろうか。インフォームド・コ

科学的に必要で妥当な実験研究でなければ、人を対象に実施してはいけない。それが倫理原則の第一である。これが満たされなければ、同意手続きや情報保護体制が完備していても、倫理的に認められる研究にはならぬ。

性的検討に力を入れてほしい。これまで倫理委員会は科学的側面の審査に消極的だったように思える。科学面は申請者の判断に任せているという発言がある倫理委員会で聞いたことがあるが、そうした遠慮はやめるべきだ。文部科学省のES細胞研究専門委員会、科学面の審査はこの委員会の職能でないと言った委員もいる。専門的すぎて困難だと判断するが、倫理審査の対象は指針の乱発に合わせ

性的検討に力を入れてほしい。これまで倫理委員会は科学的側面の審査に消極的だったように思える。科学面は申請者の判断に任せているという発言がある倫理委員会で聞いたことがあるが、そうした遠慮はやめるべきだ。文部科学省のES細胞研究専門委員会、科学面の審査はこの委員会の職能でないと言った委員もいる。専門的すぎて困難だと判断するが、倫理審査の対象は指針の乱発に合わせ

（ぬでしま・じろう）科学技術文明研究所主任研究員